



63・64年度で 野口清掃センターを建設

野口清掃センターが、昭和六十三・六十四年度継続事業で新築されます。

現在の施設は、昭和四十九年に建設され、十四年が経過し老朽化、また、年々増加するゴミに対応できなくなったため、同施設の東側に建設するもので、工事費十一億一千二百万円。

二〇ト×八時間×二炉)で、これまでの施設より一〇トもパワーアップされます。

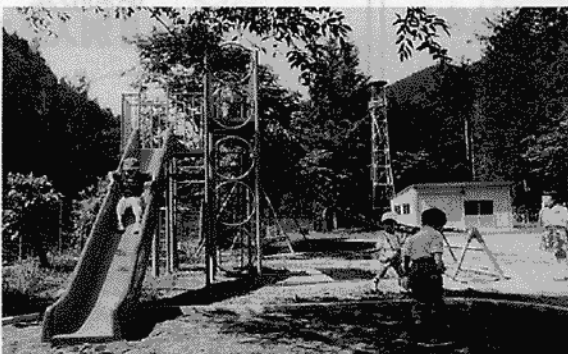
新しい炉の特長は、ワンルーム・コントロール方式。中央操作室に設置されたモニターテレビを見ながら、すべての作業を行うことができるものです。

この方式を採用したことで、作業の安全や衛生面で大幅な向上が図られます。

滝ヶ原分校跡地に 小来川農村公園が完成

滝ヶ原の旧滝ヶ原分校跡地に「小来川農村公園」が完成し、地域住民に利用されています。

滝ヶ原分校跡地に「小来川農村公園」が完成し、地域住民に利用されています。農村地区住民の健康増進と憩いの場とするため、六十二年度農村基盤総合整備事業で実施したもので、事業費は三百十万円。



この施設は地域の活性化、地区住民のコミュニケーションの場として、大きな役割を果たすと期待されています。

寸猫



春の浅い頃、頂いた「ベコニア」が、多分寒さのせいから、哀れな姿になった。一方「パンジー」は、健気に頑張っていた。

「ベコニア」の枯れたり、萎んだところを丹念に取り除いて、陽当たりのいい所へ移

5月31日、光徳で行われた宇都宮営林署植樹祭で前田宇都宮営林署長と。

し、水溶の肥料を極く薄めに与えて半月程すると、見違える程、元気になった。六月半ばの今でも立派に花を咲かせてくれている。諦めずに、力添えをする大切さを……。

日光市長

斎藤善蔵

いちいの家が 市の障害者 授産施設として スタート

七月一日から、障害者の共同作業所「いちいの家」(松原町)が、日光市では初めての市の障害者小規模通所療育授

産事業として、実施されることになりました。

この事業は、社会福祉施設を利用することが困難な障害者が通所し、日常生活の基本的訓練や職業訓練などを行う施設で、十五歳以上の通所可能な障害者が対象となります。申し込みなど詳しいことは、福祉事務所(☎五四一―一―一内線一三四)か、いちいの家(☎五四一―三六八六)へお問い合わせください。